



平成30年度 北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会
兼 平成30年度 全国高等学校総合体育大会バレーボール競技大会北海道予選会開催要項

主催 北海道高等学校体育連盟・北海道教育委員会・北海道バレーボール協会
 後援 小樽市・小樽市教育委員会・NPO法人小樽体育協会
 主管 北海道高等学校体育連盟バレーボール専門部・北海道高等学校体育連盟小樽支部・小樽バレーボール協会
 当番校 北海道小樽桜陽高等学校 (〒047-0036 小樽市長橋3丁目19番1号 TEL 0134-23-0671)

1	期	日	平成30年6月12日(火)～6月15日(金)
		6月12日(火)	13:00 審判委員研修会 小樽市総合体育館 B F 第二体育室 13:30 専門委員会議 小樽市総合体育館 B F 会議室 15:00 監督・主将会議 小樽市総合体育館 1 F 第三体育室 16:00 開 会 式 小樽市総合体育館 メインアリーナ
		6月13日(水)	9:00 競 技 開 始 (予 選 グ ル ー プ 戦) [男 子] 小樽市総合体育館 (A・B・Cコート) [女 子] 北海道小樽潮陵高等学校 (D・Eコート) 北海道小樽桜陽高等学校 (F・Gコート) 16:30 (予定) 抽選会 小樽市総合体育館 1 F 第三体育室
		6月14日(木)	9:30 競 技 開 始 (ブ ロ ッ ク 決 勝 ト ー ナ メ ン ト 戦) [男 子] 小樽市総合体育館 (A・B・Cコート) [女 子] 北海道小樽潮陵高等学校 (D・Eコート) 北海道小樽桜陽高等学校 (F・Gコート)
		6月15日(金)	9:00 競 技 開 始 (決 勝 リ ー グ 戦) [男 子] 小樽市総合体育館 (Aコート) [女 子] 小樽市総合体育館 (Cコート) 競技終了後 閉 会 式 小樽市総合体育館 メインアリーナ

2 会 場 小樽市総合体育館(A・B・Cコート) 小樽市花園5丁目2番2号 TEL 0134-33-3710
 北海道小樽潮陵高等学校(D・Eコート) 小樽市潮見台2丁目1番1号 TEL 0134-22-0754
 北海道小樽桜陽高等学校(F・Gコート) 小樽市長橋3丁目19番1号 TEL 0134-23-0671

3 競 技 規 則 平成30年度 公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。

4 参 加 資 格

- (1) 北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒で、全道大会参加の資格を得た者。(全道高校体育大会基準による)
 - (2) 北海道バレーボール協会登録チーム・公益財団法人日本バレーボール協会個人登録選手であること。
 - (3) 高体連主催大会参加者災害補償制度に加入した者、または加入の意志のある者。
 - (4) 平成11年4月2日以降に生まれた者。ただし、同一学年の出場は1回限りとする。
 - (5) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。
 - (6) 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長が支障ないと判断した者とする。
 - (7) 参加資格の特例
 - ア 上記(1)に定める生徒以外で(2)～(6)の大会参加資格を満たした生徒を、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ (4)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。
 - ウ 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
 - エ 部員不足による合同チームの大会参加を認める。
- [大会参加資格の別途規定]
- 1 北海道高等学校体育連盟加盟校以外の学校に在籍し、全道高校体育大会に参加を認められた生徒であること。
 - 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア 北海道高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあっては、支部の予選会から出場が認められる。
 - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 全道高校体育大会参加生徒の指導基準及び全道高校体育大会参加者心得を遵守し、競技種目開催要項及び申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- (8) 資格違反は、発覚時に失格とする。また発覚が試合終了後は、専門部で審議の上、処置を決定する。

5 引 率 ・ 監 督

- (1) 引率責任者は、校長が認める当該校の教員とする。
- (2) 監督は校長が認めた教職員とする。監督・コーチが校長の認める外部指導者の場合は、道高体連災害補償制度に必ず加入することを条件とする。また高体連バレーボール専門部長に文書をもって4月末日までに届け出ること。
- (3) 引率責任者は、選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。
- (4) 引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。

6 チーム構成

- (1) チームは、監督・コーチ・マネージャー各1名、選手14名以内とする。但し選手登録は18名以内とする。
- (2) 課程（全日制課程・定時制課程・通信制課程）ごとの生徒によるチームであること。
- (3) マネージャーは当該校の教職員または生徒でなければならない。
- (4) 参加申込書に記載された引率責任者、監督、コーチ、マネージャー、選手の変更は監督・主将会議の際、最終エントリーにより届け出なければならない。それ以降は認めない。ただし、選手の変更があっても番号の変更は認めない。
- (5) 構成メンバー以外の登録選手は、ボールキーパー、クイックモッパーとして参加できる。（ユニフォーム以外の統一した服装）
- (6) 14名の選手の内、外国人留学生は2名までエントリーできるが、コートへはその内の1名に限る。（北海道高等学校体育連盟及び高体連バレーボール専門部長に文書をもって4月末日まで届け出、承認を得た者であること）

7 代表チーム数

- (1) 男子支部総数を19、女子支部総数を26とし、専門部の裁量を男女とも3とする。
平成23～25年の全道大会出場チーム総数の平均を予選出場総数に対する支部予選出場割合により各支部に割り当て、次に専門部の裁量により、直近の過去3年間（平成27～29年）の出場校数に基づいて割合を計算し、男女3チームずつを選出する。
上記の手順により、平成30年度の各支部の代表校を次の通りとする。

	函館	室蘭	小樽	札幌	空知	旭川	名寄	北見	十勝	釧根
男子	2	2	1	7	1	3	1	2	1	2
女子	3	3	2	8	2	3	2	2	2	2

- (2) 開催支部はさらに1チーム出場可とする。（原則として当番校とする）
- (3) 全国大会には、男女各2チームを代表とする。

8 競技方法

- (1) 1日目は4～3チーム1グループによる予選グループ戦、2日目は4ブロック決勝トーナメント戦、最終日は決勝リーグ戦とする。
- (2) 大会使用球は、男子ミカサ[MVA300]、女子モルテン[V5M5000]とする。

9 組み合わせ

- (1) 予選グループ戦事前抽選は道高体連バレーボール専門部が行う。
（平成30年5月31日（木）10:00 北海道小樽桜陽高等学校会議室）
- (2) ブロック決勝トーナメント戦は、直接抽選とするが、シード、地区シードを行う。
- (3) シードはシード委員会による。シード委員は、委員長、副委員長、委員若干名として、道専門部指名とする。

10 参加申込

- (1) 大会要項・大会参加申込様式のダウンロード
北海道小樽桜陽高等学校HP <http://www.otaruouyou.hokkaido-c.ed.jp>
- (2) 申込方法 ①「参加申込書（押印済み）」、「JVA MRSチーム加入選手一覧」、「2018北海道高等学校体育大会バレーボール競技大会参加チームへのお願い」の3枚を当番校へ郵送すること。
②プログラム記載用選手名簿を下記メールアドレスへ添付して送信すること。
送信先：masano88@hokkaido-c.ed.jp
- (3) 申込先 〒047-0036 小樽市長橋3丁目19番1号 北海道小樽桜陽高等学校内
平成30年度 北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会 事務局 高 畠 利 昌 宛
TEL：0134-23-0671 FAX：0134-33-0898
- (4) 申込期限 平成30年5月29日（火）

11 参加料

参加申込書にある記載選手人数分（1名1,500円、マネージャーは含まない）を下記の銀行口座に振り込むこと。なお、入金後の記帳にはチーム名が分かるように手続きをすること。（例 小樽桜陽男子）
〔参加料振込先〕 北海道信用金庫 手宮支店 普通預金 口座番号 4200538
北海道小樽桜陽高等学校全道大会事務局 代表 白鳥 真次

12 表彰

- (1) チーム表彰 優勝、準優勝、3位、4位
- (2) 個人表彰 ベスト14（男女）
- (3) 優勝監督賞

13 諸会議

- (1) 予選グループ戦事前抽選会 平成30年5月31日（木）10:00 北海道小樽桜陽高等学校 会議室
- (2) 北海道高体連バレーボール専門委員会議 平成30年6月12日（火）13:30 小樽市総合体育館 B F 会議室
- (3) ブロック決勝トーナメント戦抽選会 平成30年6月13日（水）16:30（予定）小樽市総合体育館 1F 第三体育室

14 その他

- (1) 胸章については監督は㊦、コーチは㊧、マネージャーは㊨、キャプテンはユニフォームと異なる色の2cm×8cmのマークを、身体中央胸番号の下につける。
- (2) 競技者番号は1～18とし、胸部の高さは最小限15cm、背部の高さは最小限20cmのものを着用し、明瞭で区別できるように、見やすく身体中央部につける。
- (3) チームは色の異なる2種類のユニフォームを用意しなければならない。
- (4) 練習のための外運動靴と内運動靴を区別して持参すること。
- (5) 予選グループ戦・ブロック決勝トーナメント戦の補助記録員・ラインジャッジ・点示は参加チームにおいて行うこととする。（決勝リーグ戦は除く）
- (6) ベンチスタッフは、ジャケットを着用するか、統一された服装で襟付きのものを着用すること。Tシャツ等の襟の無いものや、短パン、ハーフパンツ、サンダル、スリッパでのベンチ入りはできない。
マネージャーが生徒の場合は、制服または選手ウェアと同じジャージが望ましい。
- (7) ユニフォームは、競技規則通り統一されなければならない。（ソックス含む）また、踝が完全に隠れるソックスを着用する。
- (8) 今大会の男女ベスト4のチームを第71回全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道代表決定戦の推薦とする。
- (9) 今大会の優勝チームを第12回天皇杯・皇后杯全日本6人制バレーボール選手権北海道ブロックラウンドに推薦する。